

明石市における自殺の現状について

1 自殺の現状

表1 明石市自殺者の男女比較

※出典：厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」

性別	2020年	2021年	2022年	2023年
男性	33人(64.7%)	41人(69.5%)	31人(57.4%)	28人(58.3%)
女性	18人(35.3%)	18人(30.5%)	23人(42.6%)	20人(41.7%)
合計	51人(100%)	59人(100%)	54人(100%)	48人(100%)

明石市における2023年の自殺者総数は、2020年からの5年間で最も少ない48人であった。

表2 明石市自殺者の年代別比較

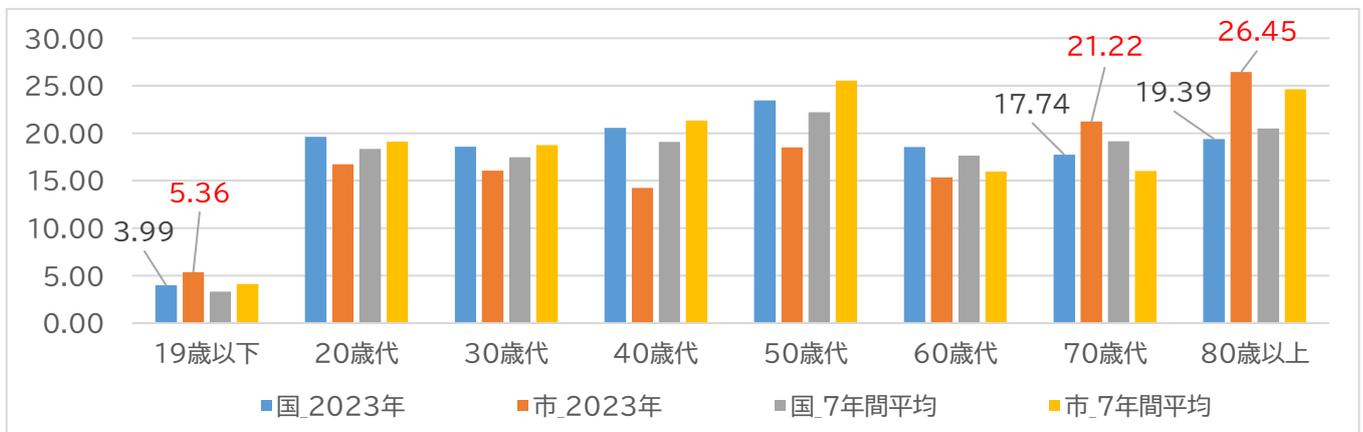
※出典：厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」

年	2020年	2021年	2022年	2023年
19歳以下	1人(2.0%)	3人(5.1%)	4人(7.4%)	3人(6.3%)
20歳代	12人(23.5%)	6人(10.2%)	5人(9.3%)	5人(10.4%)
30歳代	5人(9.8%)	8人(13.6%)	5人(9.3%)	6人(12.5%)
40歳代	10人(19.6%)	12人(20.3%)	14人(25.9%)	6人(12.5%)
50歳代	8人(15.7%)	11人(18.6%)	9人(16.7%)	8人(16.7%)
60歳代	2人(3.9%)	10人(16.9%)	6人(11.1%)	5人(10.4%)
70歳代	7人(13.7%)	5人(8.5%)	4人(7.4%)	8人(16.7%)
80歳以上	6人(11.8%)	4人(6.8%)	7人(13.0%)	7人(14.6%)
合計	51人(100%)	59人(100%)	54人(100%)	48人(100%)

2020年から2023年の自殺者において、「40歳代」「50歳代」の割合が高い傾向にある。「19歳以下」において、2021年以降から5%を割ることがない。

グラフ1 明石市年代別自殺死亡率の国比較(2023年) 及び 直近7年間平均自殺死亡率比較

※出典：厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」



明石市における2023年の年代別自殺死亡率は、「19歳以下」「70歳代」「80歳以上」で、国及び直近7年間平均より高い。

表3 自殺既遂者で自殺未遂歴割合の国・県比較

※出典：厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」

2020年～ 2023年	国	国 (男)	国 (女)	兵庫県	兵庫県 (男)	兵庫県 (女)	明石市	明石市 (男)	明石市 (女)
未遂歴有	19.8%	14.8%	30.0%	19.9%	14.9%	30.1%	24.7%	13.9%	43.2%
未遂歴無	62.6%	66.2%	55.2%	71.6%	76.2%	62.3%	63.4%	71.8%	49.8%
不詳	17.9%	19.3%	15.0%	8.5%	8.9%	7.6%	11.9%	14.4%	7.0%

明石市は、国や兵庫県に比べ女性の自殺既遂者における自殺未遂歴の割合が高い傾向にある。

表4 明石市自殺未遂者等情報提供受理件数

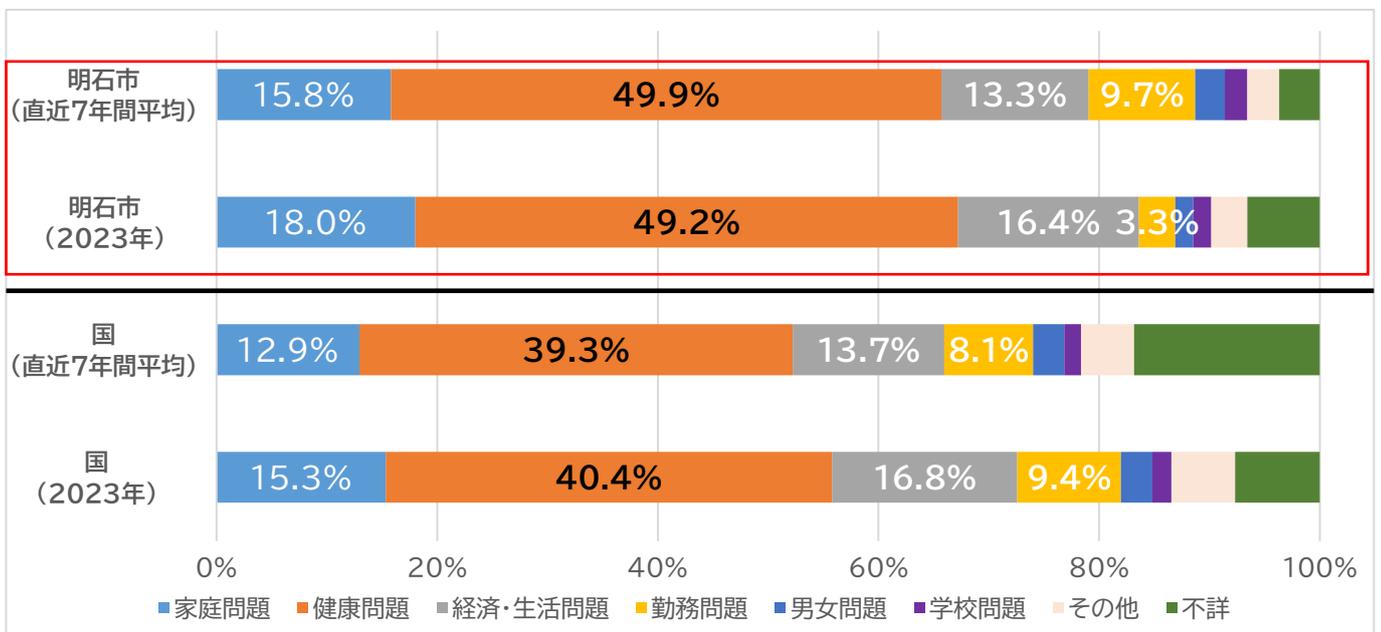
※年度集計

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
自殺未遂者等情報提供受理件数	243件	228件	244件	290件

消防局及び警察署、救急医療機関から明石市に自殺既遂者及び未遂者の情報提供があった件数を年度集計したもので、2023年度は2022年度に比べて46件増加している。

グラフ2 明石市における自殺要因の国比較(2023年)及び直近7年間平均比較

※出典：救急要請通知書

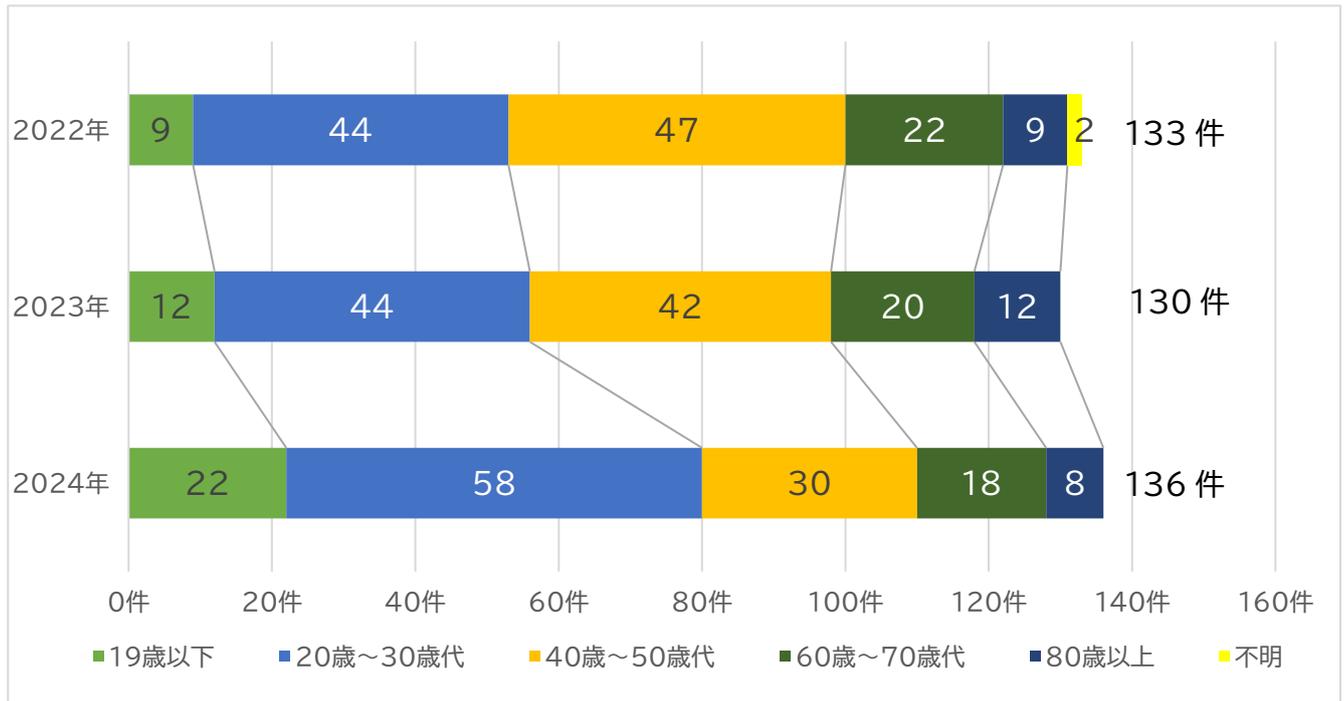


明石市での自殺要因で「健康問題」が直近7年間平均及び2023年において約半数を占め、国と比較しても高い。

2 明石市救急要請通知件数（自殺既遂者と未遂者を含む）

グラフ3 救急要請通知件数の年代別比較

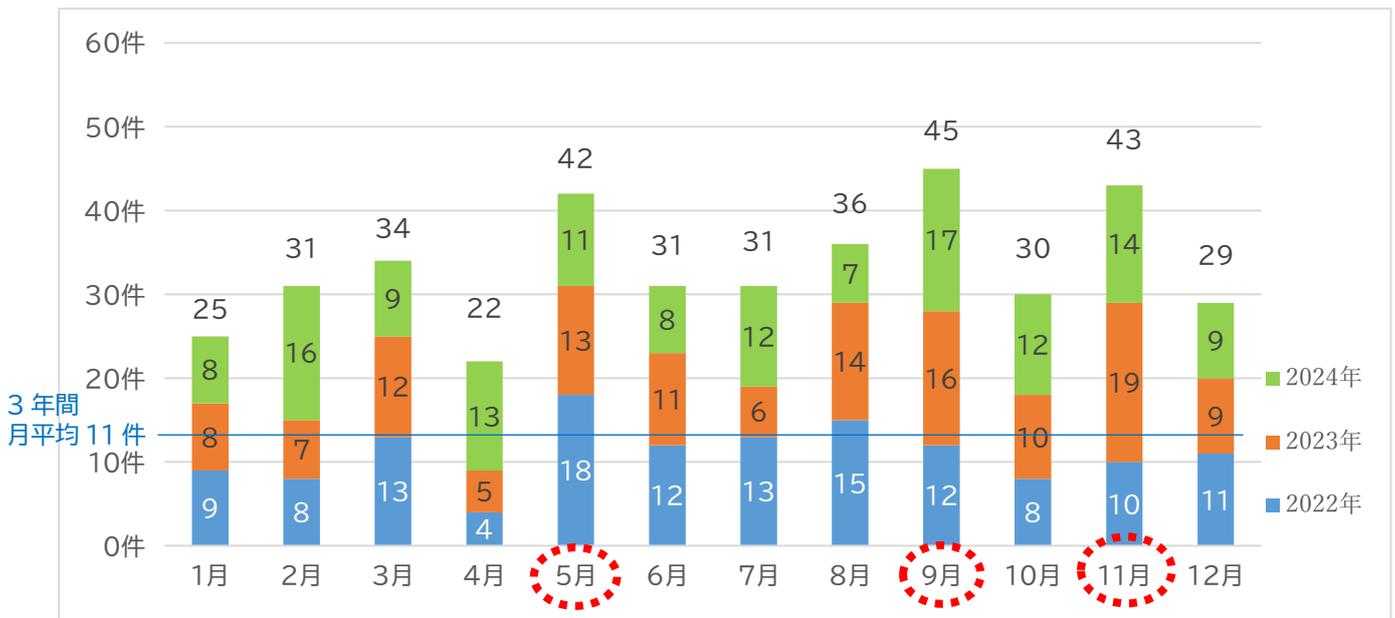
※出典：救急要請通知書



自殺行為により救急要請があった件数を年代別にしたものであり、自殺既遂者と自殺未遂者が含まれている。2024年は、「19歳以下」から「20～30歳代」における年代の救急要請通知件数が多い。

グラフ4 2022年から2024年における救急要請通知総件数(月別)

※出典：救急要請通知書

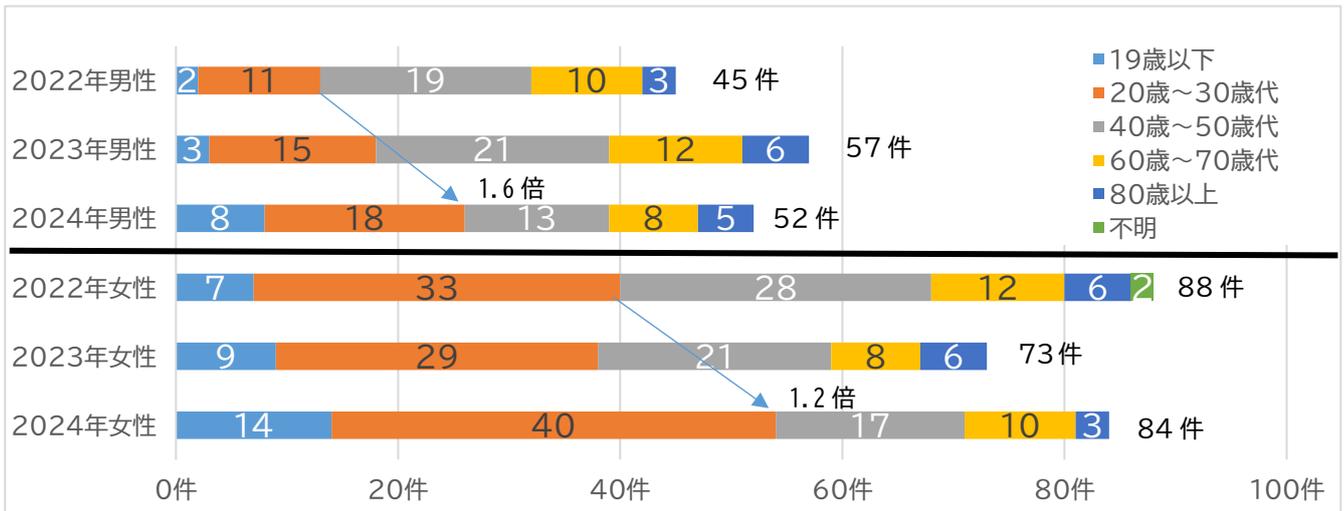


2022年以降の自殺行為（未遂も含む）により救急要請があった件数を月別に示したもので、2022年から2024年までの集計では、5月、9月、11月に救急要請通知件数が多い傾向にあった。

※ 2022年以降から消防局と救急要請件数（自殺疑い）のデータの共有を開始

グラフ5 救急要請通知件数(性別×年代)

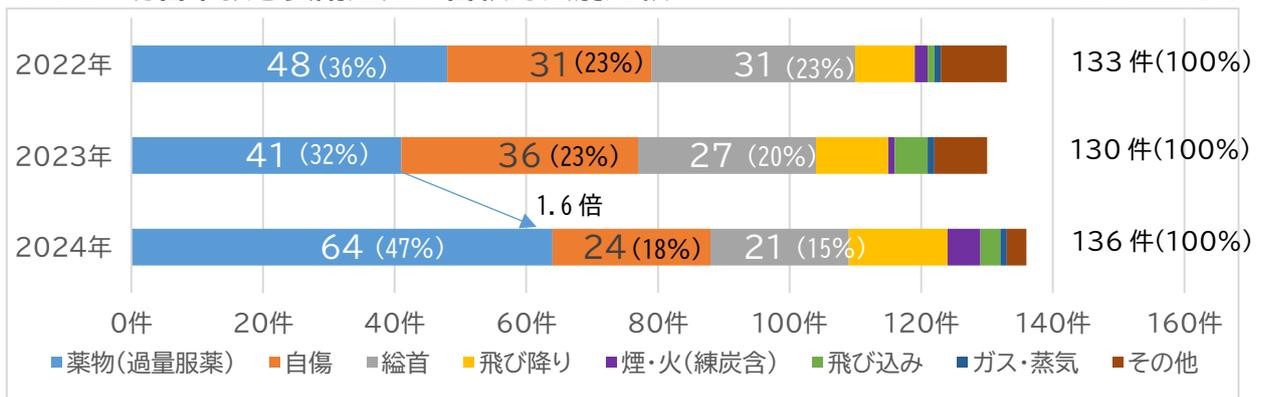
※出典：救急要請通知書



グラフ3を性別に分類したもので、2022年から2024年において、「19歳以下」、「20歳から30歳代」における救急要請通知件数は、男女ともに増えている。

グラフ6 明石市救急要請通知の自殺方法別比較

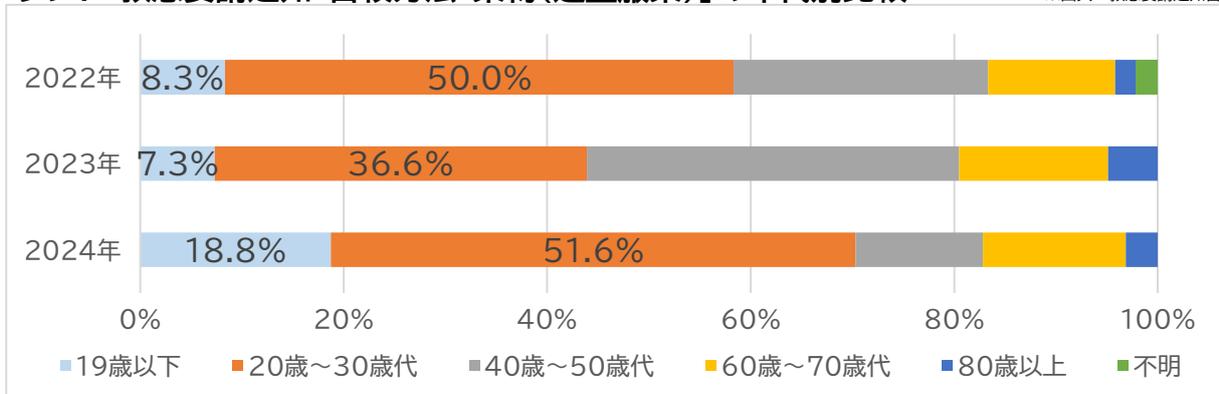
※出典：救急要請通知書



2022年から2024年における自殺方法で、「薬物(過量服薬)」「自傷行為(リストカット含)」「縊首」の順で多く、「薬物(過量服薬)」の利用が増えている。

グラフ7 救急要請通知・自殺方法「薬物(過量服薬)」の年代別比較

※出典：救急要請通知書



自殺方法として薬物の利用率が高い年代は、各年において「19歳以下」から「20～30歳代」となっており、2024年では約70%と増えている。